

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-38201

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和60年(1985)2月27日

B 60 B 1/04

7146-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑤4発明の名称 チュープレスタイヤ用のワイヤスポークホイール装置

②1特 願 昭58-145013

②2出 願 昭58(1983)8月10日

⑦2発 明 者 河 野 明 夫 埼玉県入間郡大井町亀久保666-4
⑦2発 明 者 小 関 伸 一 横須賀市鷹取町2丁目91
⑦1出 願 人 本田技研工業株式会社 東京都渋谷区神宮前6丁目27番8号
⑦4代 理 人 弁理士 北村 欣一 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

チュープレスタイヤ用のワイヤスポークホイール装置

2. 特許請求の範囲

中心のハブを外周のリムとをワイヤスポークを介して互に連結する式のものにおいて該リムに形成される取付孔内に挿通される該ワイヤスポークの外端部にリングその他のシール部材を施して該取付孔を気密にシールすることを特徴とするチュープレスタイヤ用のワイヤスポークホイール装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明はチュープレスタイヤの装着に適合するワイヤスポーク式のホイール装置に関する。

従来この種装置として、中心のハブと外周のリムとをワイヤスポークを介して互に連結する式のもの知られるが、この場合該リムはこれに取付孔を備え、該スポークはその外端部において該取付孔内に挿通して取付けられる式を一

般としたもので、かゝるものでは該取付孔に空気もれを生じ勝ちであり、そのまゝではチュープレスタイヤの装着に適合しない不都合を伴う。

本発明はかゝる不都合のない装置を得ることをその目的としたもので、中心のハブと外周のリムとをワイヤスポークを介して互に連結する式のものにおいて該リムに形成される取付孔内に挿通される該ワイヤスポークの外端部にリングその他のシール部材を施して該取付孔を気密にシールすることを特徴とする。

本発明の実施例を別紙図面に付説明する。

図面で(1)は中心のハブ、(2)はその外周のリム、(3)は該ハブ(1)と該リム(2)とを互に連結するワイヤスポークを示し、該スポーク(3)はその外端部(3a)において該リム(2)に形成される取付孔(4)内に挿通されて結着され、その外周にタイヤが装着されるもので、この点は従来のもものと特に異なる。

本発明によれば、該外端部(3a)にリングその他のシール部材(5)を施して該取付孔(4)を空気

もれのないシール状態とするもので、第1図示袋状の継子孔(3c)と開口端外周の角形部(3d)とを有するものでは該外端部(3a)を締着自在のニツプル

とし、その外周に該取付孔(4)の内周面との間に該シール部材(5)を施すようにした。第2図及び第3図示のものでは該外端部(3a)を構成するニツプルに膨大する頭部(3b)を形成させ、これを該取付孔(4)に形成されるニツプル座(4a)に嵌合して支承させる型式とし、この場合リングから成るシール部材(5)は該頭部(3b)の外周面或はその下側のテーパ面に設けられるようにした。

更に第4図示のものでは該頭部(3b)と該ニツプル座(4a)とは互に上下に対向する型式とし、該部材(5)はこの対向面間に介入されるようにした。

第5図示のものでは、該外端部(3a)は別個のニツプルから成ることなく該ワイヤスポーク(3)と一体に形成される型式とし、この場合該ニツプルは図示しないがハブ(1)側に設けられるものとし、該外端部(3a)は膨大する頭部(3b)を有するもので、リングから成る該シール部材(5)はその下側外周に施されるようにし、或は第6図

(3)

示のように該頭部(3b)の外周に施されるようにし、或は更に第7図示のように該頭部(3b)の下面に施される等任意である。

このように本発明によるときはワイヤスポークの外端部にリングその他のシール部材を施して該外端部を挿通するリム側の取付孔を空気もれのない状態にシールするもので、その外周にチューブレスタイヤを装着した支障を生ずることがなく、その構成は単にシール部材を備えるのみで簡単であり廉価に得られる効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明装置の1例の截断側面図、第2図乃至第4図はその各変形例の要部の截断側面図、第5図は他の1例の要部の截断側面図、第6図及び第7図はその各変形例の要部の截断側面図である。

(1)…ハブ (2)…リム (3)…ワイヤスポーク

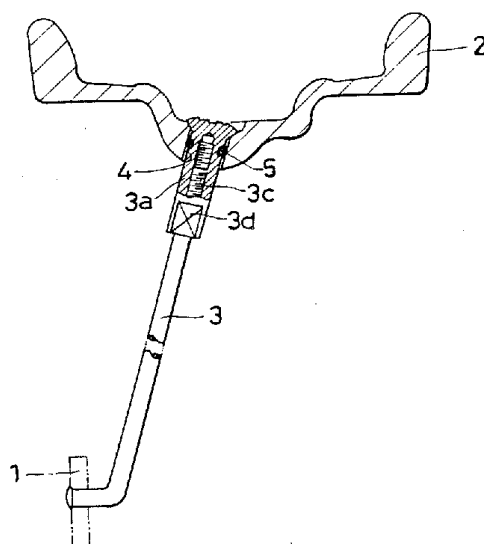
(3a)…外端部 (4)…シール部材

特許出願人 本田技研工業株式会社
代理人 北村 欣一

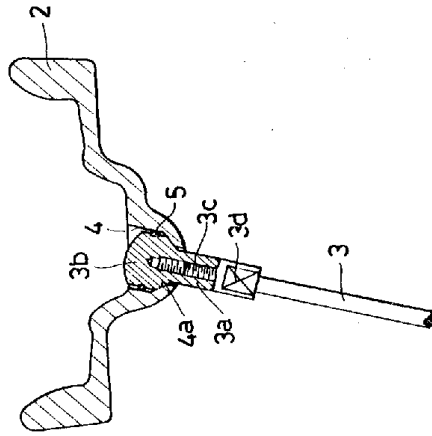
外2名

(4)

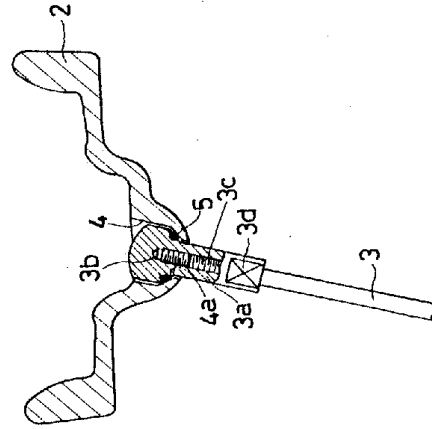
第1図



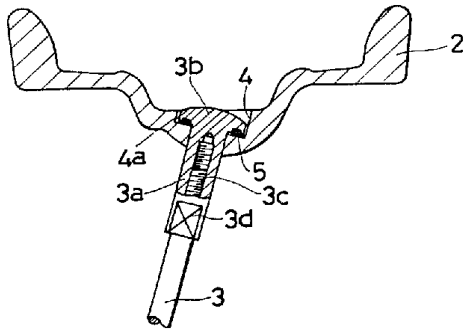
第2図



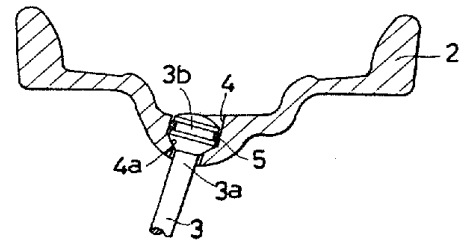
第3図



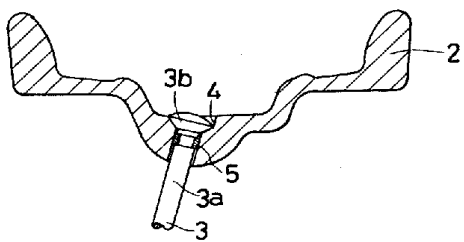
第4図



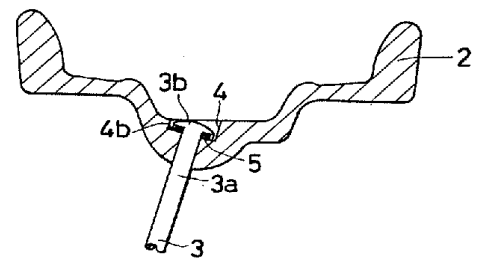
第6図



第5図



第7図



PAT-NO: JP360038201A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60038201 A
TITLE: WIRE SPOKE WHEEL FOR
TUBELESS TYPE
PUBN-DATE: February 27, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KONO, AKIO	
KOSEKI, SHINICHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HONDA MOTOR CO LTD	N/A

APPL-NO: JP58145013
APPL-DATE: August 10, 1983

INT-CL (IPC): B60B001/04

US-CL-CURRENT: 72/206 , 301/58

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent air from leaking

through a fitting hole so that a tubeless tyre is appropriately mounted on a rim by applying a seal member on an outer end part of a wire spoke received in the fitting hole of the rim to hermetically seal the fitting hole.

CONSTITUTION: A hub 1 positioned at a central portion and a rim 2 positioned at an outer peripheral portion are connected with each other by means of a wire spoke 3. An outer end part 3a of the spoke 3 is received in a fitting hole 4 of the rim 2. In this case, a seal member 5 such as an O-ring or the like is applied on the outer end part 3a of the spoke 3 to hermetically seal the fitting hole. For example, the outer end part 3a is formed as a fastenable nipple comprising a bag-shaped tapped hole 3c and a square-shaped part 3d arranged on an outer periphery of an opening end, and the seal member 5 is applied on the outer periphery thereof. This enables to prevent air from leaking through the fitting hole 4 of the rim 2 so that a tubeless tyre can appropriately be mounted on the outer periphery of the rim 2 without hindrance.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio